～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農学部　植物生産環境科学科　1年　（深澤　仁）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　　2015年　　2月　　18日　　～　　2015年　　3月　　22日

〇渡航時の学年：　　1年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

大学に入ったら留学をしようと思っていたため。

1カ月という期間がちょうどよかったため。

・渡航に関する手続について：

海外で病気になった時のために保険に加入した

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：

渡航費　20万程度

生活費（ホームステイ込）15万

授業料　20万程度

〇ホームステイ先の環境：

ホームステイ先は若い夫婦の家庭だったが、共働きであったため、朝は一人で食べていた。夜ご飯はホストマザーが用意してくれたものを黙々と食べる感じであった。土日もホストファミリーは仕事のためほとんど家におらず、ホストファミリーとあまり話す機会がなかったためホストファミリーを変えてもらった。次のホストファミリーは、5人家族で、ホストマザー、ホストファザー、3人のホストシスターがいる家庭であった。ホストシスターは、3歳、5歳、8歳でとてもかわいかった。よく一緒に映画を見たり、トランポリンで遊んだりした。ホストファザーとホストマザーもやさしくいろんな話をした。もし、ホストファミリーとあまりうまくいってないと思ったらランゲージセンターに相談することをお勧めします。僕はホストファミリーを変えてもらって本当に良かったです。

〇大学のサポート状況：

大学のサポート状況はとても良かったです。僕は自分の専門科目が、ニュージーランドでどのように教えられているか興味があったので、大学にお願いをして、現地の学生に混じってbotanyの授業を受けさせてもらいました。日本と同じような教室でした。教授の英語のスピードがものすごく速く、専門用語が英語でばんばんでるので、ついていくのが難しかったのですがとてもいい経験になりました。興味があれば、ぜひ受けてみてください。

〇授業の様子：

授業はいろんな国の子と一緒に受けます。日本とは違い、読み書き中心というよりも、話すことが中心です。

〇他の留学生たちの様子:

２月は日本からの留学がとても多いらしく、日本人がたくさんいました。なので、なるべく冬より夏の留学をお勧めします。留学生は日本が一番多く、次いで中東のアラブ系の国が多かったです。

〇現地学生との交流:

現地学生との交流は特になかった

〇街の様子:

大学周辺にはスーパーやお土産屋さんなどがあり大抵のものは買えた

〇その他:

ホームステイ先は何度も日本人を受け入れているところが多いので、無理にお土産は持っていかなくてもいいかなと思う。日本のお菓子などを持っていくと喜ばれるかも。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

日本人が意外といるので、日本人同士で固まっている人も多いです。ですが、せっかく高いお金を出してニュージーランドに留学しているので、その機会を無駄にせず、自分から積極的にほかの国の人とかかわっていくべきです。日本人の友達は日本でいくらでも作れますが、ほかの国の人と友達になる機会はそうそうありません。